

医学研究科では、修士課程（医科学専攻）と博士課程（先端医科学専攻）があり、医学及び生命科学分野の研究者、研究マインドを持った専門医、並びに医学・生命科学の研究に様々な役割を担う職業人を養成します。

修士課程では次のような人材養成を目指しています。

- 基礎段階の研究デザイン・立案ができ、今日の医学に関する基礎的教養と必要な研究方法を身につけ、かつ生命倫理・科学研究倫理に関する健全な見解、グローバルな語学力を兼ね備えた人材。
- ① 研究者を目指す者に対しては、博士課程への進学を前提として、専門分野の医学研究の発展に貢献できる学際的な人材。
- ② 実社会での活躍を目指す者には、医学・医療関係の実務を行える能力を育成する。自然科学系の素材のほか、研究に関する各種の審査及び支援、あるいは研究の場に必要な人文社会学系の背景をもつ素材も発掘し、育成指導を行う。

博士課程では次のような人材養成を目指しています。

- 医学及び生命科学分野で活躍できる良識を備えた研究者、研究マインドを持った専門医、並びに医学・生命科学の研究に必要な境界領域の専門家。
- ① 研究者を目指す者に対しては、海外研究機関への留学を積極的に推奨し、これらを含む研究経験を通じてグローバルに活躍できる人材。
- ② 臨床医を目指す者に対しては、臨床上の専門知識及び技能を修得し専門医等の資格を取得することを積極的に推奨する一方、健全な倫理観と研究マインドを備えることによって指導的能力を発揮できる人材。

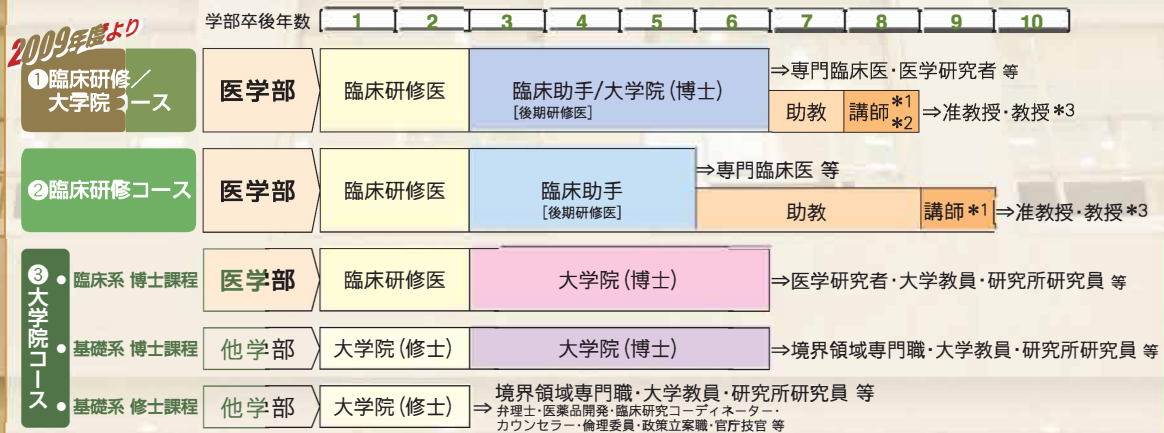
「臨床研修／大学院」コースを設けています

これは、本学附属病院に後期研修医（本学では臨床助手）として勤務しながら、大学院での修学を可能とするコースです。
※東海大学では後期研修医を臨床助手と称しています。

- ① 給与が支給されます。（例：1年次の年額 約 360万円（そのほか各種手当あり））
- ② 私学共済に加入出来ます。また、各種の福利厚生が適用されます。（例：雇用保険、健保・年金、院内保育所の利用等）
- ③ 昼夜開講や web 教材の利用により病院勤務と大学院の両立が可能となります。
- ④ 期間内の開講授業、学位取得へのサポート等の条件は、他の大学院生と変わりません。

※「臨床研修/大学院」コース(①)から、大学院コース(③)へのコース異動は原則認められません。（下図参照）
※「臨床研修/大学院」コースを希望する場合は、事前に、研究指導を受けたい指導教員とよく相談して下さい。
※後期研修医の試験は別途、受けることになります。

大学院進学で自身のキャリアパスを大きく展開できます。



*1：東海大学医学部教員採用・昇格内規による講師昇格までの最短期間を示しています。
*2：通常の在籍期間内に学位を取得し本学教員に採用された場合、講師昇格までの期間が短縮される可能性を示します。
*3：准教授昇格には博士の学位が必要です。